

令和 6 年 9 月定例教育委員会会議録

令和 6 年 8 月 3 0 日 定例熊谷市教育委員会を市役所 3 0 3 会議室に招集する。

○ 出席者

野原 晃、大石 聡一、加藤 道子、松島 佳代子、小林 敏宏

○ 出席事務局

教育次長	三友 孝二
参事兼学校教育課長	中谷 樹
教育総務課長	小暮 洋久
社会教育課長	小澤 信行
中央公民館長	長島 千恵
教育総務課副課長	浅見 弘江
教育総務課主事	浅見 柚妃

1 3 時 3 0 分 9 月定例教育委員会開会

教育長から、令和 6 年 9 月定例熊谷市教育委員会の開会の宣言があり、傍聴希望者 1 名の入室が許可され、本会議の会議録の署名人に加藤委員が指名された。

7 月臨時教育委員会及び 8 月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。

教育長から、報告第 9－5 号、議案第 3 5 号及び第 3 6 号は、人事案件のため非公開とし会議録に載せない旨の発議があり、出席委員全員が賛成し非公開で行われることに決定した。

日程第 1（報告第 9－1 号）寄附申出について

教育総務課長から、熊谷教育推進のためとして、令和 6 年 7 月 1 1 日から令和 6 年 8 月 1 0 日までの期間、ふるさと納税が計 1 件、金額にして 1 万 8, 0 0 0 円の寄附申出をいただいたとの報告があった。

日程第 1（報告第 9－2 号）9 月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、1 0 月 1 日（火）に学校において、1 0 月定例教育委員会及び総合教育会議を開催する予定であるとの報告があった。

日程第 1（報告第 9－3 号）令和 6 年 9 月市議会定例会における教育委員会関連の議案の概要について

教育総務課長から、9 月市議会定例会における教育委員会関連の議案等について

説明があった。

初めに、「令和6年度熊谷市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書」について、8月の定例教育委員会において承認された、令和5年度対象の点検・評価報告書を市議会に提出するとの報告があった。

次に、「工事請負契約の締結についての変更について」は、6月定例教育委員会で議事として取り上げ、6月市議会定例会での議決を経て契約を締結した「熊谷市立玉井小学校教室棟中校舎改修建築工事」「熊谷市立別府中学校管理棟改修建築工事」「熊谷市立籠原小学校管理教室棟（B棟）改修建築工事」について、社会変動に伴う建築資材や賃金の急騰への対応の一環として、国からの「労務単価の適用の特例措置に関する通知」に基づき、本工事の労務単価を新たな労務単価で積算し、契約金額を変更する契約を締結するための議案を提出するものである。変更金額は、議案のとおりであり、本市の条例では予定価格が1億5,000万円以上の工事は議会の議決に付さなければならないとされ、契約を変更する場合にも同様に議会の議決に付さなければならないとしているとの説明があった。

次に、「財産の取得の追認について」は、平成27年度、令和2年度及び令和6年度に取得した小学校教師用指導書等については、「熊谷市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」第3条に規定する予定価格2,000万円以上の財産であり、議会の議決を経て取得すべきところ、議会の議決を経ずに取得していたことが判明したため、財産の取得について追認の議決を求めたいので提案するものであるとの報告があった。この議案の経緯については、今年度、県内他市の教育委員会から、県内市町村教育委員会宛てに「令和6年度の小学校の教師用教科書・指導書等の購入に係る調査」が行われ、当該調査において、教師用教科書・指導書等の購入に当たって、議会の議決を経ているか否かの設問があり、本市では、教師用教科書・指導書等の購入に当たっては、定例的・義務的な経費であり、「財産」という認識がなく、指導書1件ごとの金額としては低価格であったこと、購入先が限定されていること、価格は文部科学省が認可して変動性がないことを理由に、これまで議決を経る必要性を認識していなかった。その後、調査の集計結果が8月6日に送付されてきたが、教師用教科書・指導書等の購入に当たって、本市と同様に議会の議決を経ていなかった市町村が、当該調査の集計結果を受けて、過去の売買契約を追認で議決を求める動きのあることが判明したことを受けて、本市においても、過去の事例を調査した結果、議決要件に該当する案件が、平成27年度に2件、令和2年度に4件、令和6年度に3件存在していることが判明したことから、他の市町村と同様に、追認で議決を経ようとするものである。本件については、あらかじめ教育委員会に諮ってから議会に提案をし、その後に購入すべきであったが追認となったものであるとの報告があった。

次に、「令和6年度一般会計補正予算」の歳出について説明があった。

「小中学校 GIGA スクール構想事業」は、子供たちの教育の充実のためとして、寄附金 1 5 0 万円を頂いたことから、これを活用して児童・生徒が使用するタブレット端末の修理や、故障の程度によっては新品の端末と入れ替える経費を計上したもので、「星溪園維持管理経費」は、本年 6 月に庭園の樹木が倒れたことから実施した樹木医による診断結果において、倒木等の恐れがあると判断された樹木の伐採のほか、枯枝除去及び樹高を低くする等軽減剪定が必要な樹木の処置を行うための経費を計上したものであるとの説明があった。

最後に歳入について、「教育費寄附金」は、4 月から 6 月までのふるさと納税の受入 4 件分、計 2 4 万 5 0 0 円と、歳出で述べた「小中学校 GIGA スクール構想事業」で活用する寄附金で 6 月及び 8 月定例教育委員会でそれぞれ報告した市内在住の 2 名の方から頂いた寄附金 1 5 0 万円とを合わせた合計 1 7 4 万円を歳入補正するものであるとの報告があった。

日程第 1（報告第 9－4 号）令和 6 年度全国学力・学習状況調査結果について

学校教育課長から、令和 6 年度全国学力・学習状況調査の結果について説明があった。

この調査は、小学 6 年生と中学 3 年生を対象に 4 月 1 8 日に実施されたもので、今年度の本市小学校の結果は、国語 7 3 %、算数 6 7 %、合計 1 4 0 %であり、これは全国 1 位の石川県をも上回る結果であり、まさに学力日本一といえる。また、中学校の結果については、国語 5 8 %、数学 5 2 %、合計 1 1 0 %であり、例年ほどの高さは無いが、国・県と同等の水準の学力は保証できている。今後、正答率の低い問題については「なぜできなかったのか」を明らかにするとともに、今後各中学校に国語・数学担当の指導主事を派遣し、教科の担当教員と直接話し、調査問題の分析及び課題の把握をすることで、課題解決につながる授業改善を行うとの報告があった。

また、児童・生徒の質問調査の結果では、本市で力を入れている取組みについて児童・生徒の意識から大きな成果が見られ、主に「地域貢献・郷土愛」「オーセンティックな学び」の項目で国・県の数値を大きく超えている。一方「ICT 機器の使用」については国・県より低く出ており、「子どもと教師、子ども同士が向かい合い、活字を用いた授業」を基本とし、ICT も利用しながら子供たちの学力をつけているため、今後さらに ICT 機器、1 人 1 台端末の整備を進めていき、子供たちを徹底的に構う熊谷教育「新熊谷プロジェクト」を推進し、熊谷の子供たちの知・徳・体のバランスのとれた学力の育成に向け全力を挙げていくとの説明があった。

（その他）後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、令和 6 年 7 月 1 6 日から令和 6 年 8 月 1 5 日までに後援等承

認決定した事業が 1 2 件あったとの報告があった。

日程第 1（報告第 9－5 号）非公開

日程第 2（議案第 3 5 号及び 3 6 号）非公開

（議案は、原案どおり可決）

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和 6 年 9 月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

（ 1 4 時 2 0 分 閉会）

署名

教育長

野原 晃

委 員

加藤 道子